



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ドウシシャ
 コード番号 7483 URL <https://www.doshisha.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 兼 CEO 兼 COO (氏名) 野村 正幸

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 兼 常務執行役員 (財務経
 理、貿易業務、業務管理担当役員) (氏名) 松本 崇裕 TEL 06-6121-5669

四半期報告書提出予定日 2022年11月11日 配当支払開始予定日 2022年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績 (2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	52,404	6.8	3,839	△2.9	3,954	△4.8	2,641	△5.4
2022年3月期第2四半期	49,046	△2.3	3,953	△24.0	4,155	△21.9	2,791	△22.2

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 3,613百万円 (41.5%) 2022年3月期第2四半期 2,553百万円 (△30.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	77.10	—
2022年3月期第2四半期	79.45	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	97,113	78,688	79.3	2,255.11
2022年3月期	94,371	76,712	79.8	2,177.99

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 76,991百万円 2022年3月期 75,285百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	30.00	—	30.00	60.00
2023年3月期	—	30.00	—	—	—
2023年3月期 (予想)	—	—	—	30.00	60.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	108,000	6.9	8,300	16.7	8,400	10.6	5,600	9.1	163.67

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

（4）発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2023年3月期2Q	37,375,636株	2022年3月期	37,375,636株
2023年3月期2Q	3,234,624株	2022年3月期	2,809,024株
2023年3月期2Q	34,259,354株	2022年3月期2Q	35,141,012株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の行動制限の緩和が進み、個人消費には緩やかな回復基調が見られました。一方で、急速な円安の進行やエネルギー価格の高騰による食料品や生活用品の値上げにより、家計への負担に対する今後の生活への不安感から、国内消費市場は依然として厳しい状況が続いております。

そのような状況の下、当社グループとしましては、2022年5月20日に公表いたしました「ドウシヤグループ中期経営計画」の達成に向けて、取り組んでおります。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績は売上高52,404百万円(前年同期比106.8%)、売上総利益14,231百万円(前年同期比97.7%)、販売費及び一般管理費10,392百万円(前年同期比97.9%)、営業利益3,839百万円(前年同期比97.1%)、経常利益3,954百万円(前年同期比95.2%)、親会社株主に帰属する四半期純利益2,641百万円(前年同期比94.6%)となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりです。

「開発型ビジネスモデル」

食品関連では、半生ドライフルーツや焼き干し芋など、フルーツや野菜の素材を活かした菓子類の販売が引き続き好調だったほか、バーベキューなどのアウトドアでも楽しめるマシュマロや手作りポップコーンも好調な販売となりました。

家電関連では、インターネット動画配信サービスを快適に楽しんでいただくことに特化した「ORION (オリオン)・Android TV™搭載・チューナーレス スマートテレビ」を発売し、好調な売れ行きとなりました。

一方で、均一ショップ向けの雑貨関連などを中心に、原材料等の原価上昇が影響し、特に利益面で前年同期を下回る結果となりました。

その結果、当セグメントの売上高は26,223百万円(前年同期比100.2%)、セグメント利益1,569百万円(前年同期比68.3%)となりました。

「卸売型ビジネスモデル」

ブランドバッグや時計など有名ブランド関連は、ビジネス・ユースについて、男性向け・女性向けブランドともに好調な販売となったほか、旅行用バッグなども国内トラベル需要の回復を背景に、若年層やファミリー層までのターゲットを中心に好調な販売となりました。

また、ビューティ関連では、UVスプレーや化粧水などの販売が伸長しており、国内向け販売とともに、世界的にも感染対策が緩和傾向にあることから、海外販売についても伸長いたしました。

ギフト関連では、中元ギフトが好調に推移したほか、大丸東京店などで展開しているブランドスイーツ「T. D. E a r l y」についても、メディアで取り上げていただく機会の増加とともに、販売は伸長いたしました。

その他、メーカーでの製造余剰品や訳あり品など通常なら廃棄されてしまう食品を、当社の得意先と協力して催事企画などにて販売機会を設けることで、フードロス削減につなげるなど、SDGsにも取り組んでまいりました。

その結果、当セグメントの売上高は23,414百万円(前年同期比112.8%)、セグメント利益2,144百万円(前年同期比133.5%)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は74,934百万円となり、前連結会計年度末(72,003百万円)に比べ2,931百万円増加いたしました。これは主に、売掛金156百万円、商品及び製品1,670百万円、電子記録債権90百万円、その他859百万円の増加によるものであります。固定資産は22,178百万円となり、前連結会計年度末(22,367百万円)に比べ189百万円減少いたしました。これは主に、投資有価証券189百万円の増加及び建物及び構築物(純額)160百万円、繰延税金資産199百万円の減少によるものであります。

この結果、総資産は、97,113百万円となり、前連結会計年度末(94,371百万円)に比べ2,741百万円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は10,681百万円となり、前連結会計年度末(9,899百万円)に比べ782百万円増加いたしました。これは主に、買掛金835百万円の増加及びその他46百万円の減少によるものであります。固定負債は7,742百万円となり、前連結会計年度末(7,759百万円)に比べ16百万円減少いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は78,688百万円となり、前連結会計年度末(76,712百万円)に比べ1,975百万円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益2,641百万円、その他有価証券評価差額金102百万円、繰延ヘッジ損益519百万円、為替換算調整勘定123百万円、非支配株主持分223百万円の増加及び、剰余金の配当1,036百万円、自己株式の取得646百万円の減少によるものであります。

この結果、自己資本比率は、79.3%(前連結会計年度は79.8%)となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は48,653百万円となり、前連結会計年度末より72百万円増加いたしました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果増加した資金は1,810百万円(前年同期は1,601百万円の増加)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益3,954百万円、減価償却費366百万円、仕入債務の増加額816百万円による増加及び売上債権の増加額292百万円、棚卸資産の増加額1,649百万円、法人税等の支払額1,270百万円による減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は155百万円(前年同期は251百万円の減少)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出102百万円による減少によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果減少した資金は1,760百万円(前年同期は1,408百万円の減少)となりました。これは主に、自己株式の取得による支出646百万円、配当金の支払額1,036百万円による減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、2022年5月9日に公表いたしました業績予想から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	48,581	48,653
受取手形	330	410
売掛金	12,638	12,795
電子記録債権	1,471	1,561
商品及び製品	8,036	9,707
短期貸付金	13	13
その他	933	1,793
貸倒引当金	△2	△0
流動資産合計	72,003	74,934
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,073	13,088
減価償却累計額	△5,442	△5,617
建物及び構築物 (純額)	7,630	7,470
土地	9,385	9,385
建設仮勘定	784	832
その他	3,022	3,114
減価償却累計額	△2,191	△2,316
その他 (純額)	830	798
有形固定資産合計	18,631	18,486
無形固定資産	416	385
投資その他の資産		
投資有価証券	1,910	2,099
長期貸付金	20	14
繰延税金資産	280	80
その他	1,119	1,123
貸倒引当金	△11	△11
投資その他の資産合計	3,319	3,306
固定資産合計	22,367	22,178
資産合計	94,371	97,113
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,916	6,752
未払法人税等	1,192	1,206
役員賞与引当金	57	33
賞与引当金	5	8
その他	2,727	2,680
流動負債合計	9,899	10,681
固定負債		
長期借入金	6,600	6,600
退職給付に係る負債	650	663
資産除去債務	10	10
その他	498	469
固定負債合計	7,759	7,742
負債合計	17,658	18,424

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,993	4,993
資本剰余金	6,273	6,273
利益剰余金	68,054	69,658
自己株式	△4,459	△5,105
株主資本合計	74,861	75,819
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	56	159
繰延ヘッジ損益	207	727
為替換算調整勘定	180	303
退職給付に係る調整累計額	△21	△18
その他の包括利益累計額合計	423	1,172
新株予約権	—	45
非支配株主持分	1,427	1,650
純資産合計	76,712	78,688
負債純資産合計	94,371	97,113

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	49,046	52,404
売上原価	34,478	38,172
売上総利益	14,568	14,231
販売費及び一般管理費	10,615	10,392
営業利益	3,953	3,839
営業外収益		
受取利息	0	1
受取配当金	71	26
債務勘定整理益	10	4
為替差益	26	34
助成金収入	35	3
受取和解金	19	—
その他	54	55
営業外収益合計	219	125
営業外費用		
支払利息	2	2
支払手数料	8	2
その他	5	5
営業外費用合計	17	10
経常利益	4,155	3,954
税金等調整前四半期純利益	4,155	3,954
法人税、住民税及び事業税	1,215	1,276
法人税等調整額	71	△41
法人税等合計	1,286	1,235
四半期純利益	2,868	2,719
非支配株主に帰属する四半期純利益	76	77
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,791	2,641

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	2,868	2,719
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△36	102
繰延ヘッジ損益	△308	519
為替換算調整勘定	24	269
退職給付に係る調整額	5	2
その他の包括利益合計	△315	894
四半期包括利益	2,553	3,613
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,452	3,389
非支配株主に係る四半期包括利益	101	223

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,155	3,954
減価償却費	362	366
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△42	△23
賞与引当金の増減額 (△は減少)	2	2
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2	△2
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	14	17
株式報酬費用	—	45
助成金収入	△35	△3
受取和解金	△19	—
受取利息及び受取配当金	△72	△28
支払利息	2	2
売上債権の増減額 (△は増加)	△212	△292
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△498	△1,649
仕入債務の増減額 (△は減少)	361	816
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△441	△8
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	235	△97
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△157	△58
その他	10	8
小計	3,663	3,051
利息及び配当金の受取額	72	28
利息の支払額	△2	△2
法人税等の支払額	△2,186	△1,270
助成金の受取額	35	3
和解金の受取額	19	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,601	1,810
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△211	△102
無形固定資産の取得による支出	△14	△39
投資有価証券の取得による支出	△11	△11
貸付金の回収による収入	1	6
その他の支出	△19	△11
その他の収入	3	2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△251	△155
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	—	△646
リース債務の返済による支出	△79	△77
配当金の支払額	△1,054	△1,036
非支配株主への配当金の支払額	△275	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,408	△1,760
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4	177
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△62	72
現金及び現金同等物の期首残高	47,870	48,581
現金及び現金同等物の四半期末残高	47,807	48,653

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2021年11月19日開催の取締役会の決議に基づき、自己株式425,600株の取得を行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間において自己株式が646百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が5,105百万円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自2021年4月1日 至2021年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	開発型 ビジネスモデル	卸売型 ビジネスモデル	計				
売上高							
顧客との契約から生じる収益	26,171	20,760	46,931	2,039	48,971	—	48,971
その他の収益	—	—	—	75	75	—	75
外部顧客への売上高	26,171	20,760	46,931	2,115	49,046	—	49,046
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	4,210	4,210	△4,210	—
計	26,171	20,760	46,931	6,325	53,257	△4,210	49,046
セグメント利益	2,297	1,605	3,903	204	4,108	△154	3,953

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、不動産事業、物流事業、介護福祉事業、P S 事業及び海外子会社等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△154百万円は、セグメント間取引の消去115百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△151百万円及びその他調整額△119百万円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間（自2022年4月1日 至2022年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	開発型 ビジネスモデル	卸売型 ビジネスモデル	計				
売上高							
顧客との契約から生じる収益	26,223	23,414	49,638	2,687	52,325	—	52,325
その他の収益	—	—	—	78	78	—	78
外部顧客への売上高	26,223	23,414	49,638	2,766	52,404	—	52,404
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	4,297	4,297	△4,297	—
計	26,223	23,414	49,638	7,063	56,701	△4,297	52,404
セグメント利益	1,569	2,144	3,713	388	4,102	△262	3,839

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、不動産事業、物流事業、介護福祉事業、P S 事業及び海外子会社等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△262百万円は、セグメント間取引の消去28百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△250百万円及びその他調整額△41百万円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。